

2012年度の全社的な環境マネジメントの実施状況

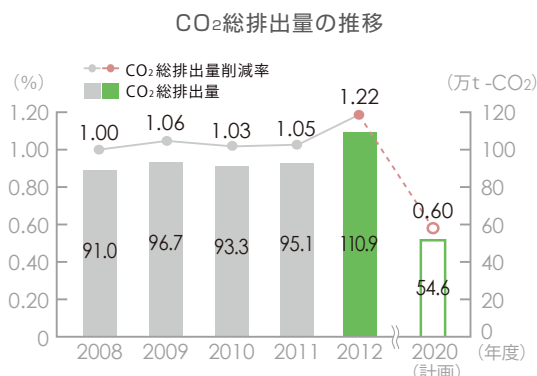
2012年度から、CSR委員会に取り組み状況を報告するとともに、四半期毎に経営層へ下記環境グランドデザインの進捗状況を報告し、さらなる改善に向けて議論しています。この結果はNTT西日本グループ各社の環境担当者を通じて、NTT西日本グループ全体へ展開しています。これらの取り組みにより、2012年度は、はじめて廃棄物最終処分率を0.9%にし、ゼロエミッションを達成しました。

環境グランドデザイン達成に向けた進捗について

温暖化対策

NTT西日本グループのCO₂排出要因としては、電力使用・社用車使用・燃料(ガス・石油)使用があり、電力使用が要因の大半をしめています。

2012年度は2011年度に比べ電力使用量は減少したものの、原子力発電所停止によるCO₂排出係数の上昇によりCO₂排出量が2012年度は昨年度に比べ上昇しています。

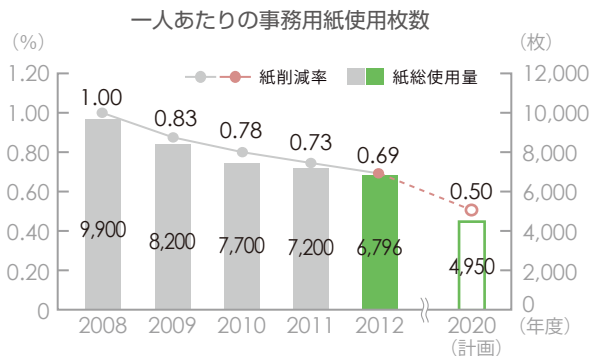
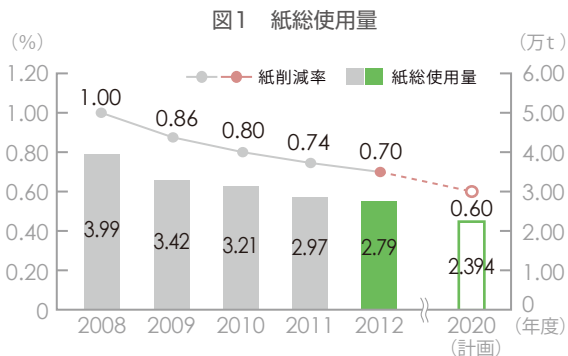


紙使用量削減

NTT西日本グループで使用する紙には電話帳、請求書、事務用紙、電報があります。

2012年度の総使用量は2.79万t(図1)で、内訳は電話帳2.27万t(市民便利帳0.13万t別掲)、請求書0.26万t、事務用紙0.22万t、電報0.04万tです。

ペーパーレス会議の徹底や社内利用用紙のシステム化による徹底的な削減等を進めるとともに、お客様のご協力を得ながら、書面での案内に代えてインターネットで請求額等を確認するMyビリング(Web明細サービス)への切り替えを促進しています。



廃棄物最終処分率低減

産業廃棄物には、撤去通信設備廃棄物、土木工事廃棄物、建築工事廃棄物、オフィス内産業廃棄物が含まれています。

2012年度の産業廃棄物の最終処分率は0.9%(図2)ではじめてゼロエミッションを達成しました。内訳としては、撤去通信設備廃棄物の最終処分率0.03%、土木工事廃棄物の最終処分率1.1%、建築工事廃棄物の最終処分率2.1%、オフィス内産業廃棄物の最終処分率1.2%です。

撤去した通信設備廃棄物の最終処分率は低いものの、オフィス内産業廃棄物の最終処分率が相対的に高いため、調達時には、リユース・リサイクルが容易な環境に配慮されたオフィス用品の購入を促進していくよう配慮しています。

